

平成29年度  
**安全報告書**



日、出づる道。

**ひたちなか海浜鉄道株式会社**

# 目次

1. はじめに.....	2
2. 輸送の安全に関する基本方針.....	3
3. 安全重点施策と安全目標.....	3
4. 安全管理体制.....	4
5. 事故等の発生状況.....	5
6. 輸送の安全を確保するための取り組み.....	6



## 1. はじめに

---

日頃よりひたちなか海浜鉄道湊線をご利用いただき、ありがとうございます。

鉄道事業において安全の確保は輸送の生命であり、弊社では安全性の向上を図るとともに安定した輸送サービスを日々提供できるよう、社員一丸となって努力しております。その結果、平成20年4月の当社発足時から、有責事故ゼロの記録を継続しております。

開業10年の節目となった平成29年度は、安定した定期のご利用に加え、観光のお客様のご利用の伸びにより、開業以来初の年間輸送人員100万人超え、ならびに単年度収支黒字化を達成いたしました。ご利用いただきました皆様へ、改めて心より感謝申し上げます。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づいて、平成29年度における輸送の安全を確保するための取り組みや現状について、皆様にご理解いただくために作成いたしました。ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますよう、お願い申し上げます。

ひたちなか海浜鉄道株式会社

代表取締役社長

吉田 千秋



## 2. 輸送の安全に関する基本方針

---

ひたちなか海浜鉄道では、以下の基本方針を定め、輸送の安全の確保に取り組んでおります。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 法令及び規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

## 3. 安全重点施策と安全目標

---

平成29年度は、「安全管理体制の整備」を重点施策とするとともに、安全目標を設定し取り組んでまいりました。

### ○安全目標

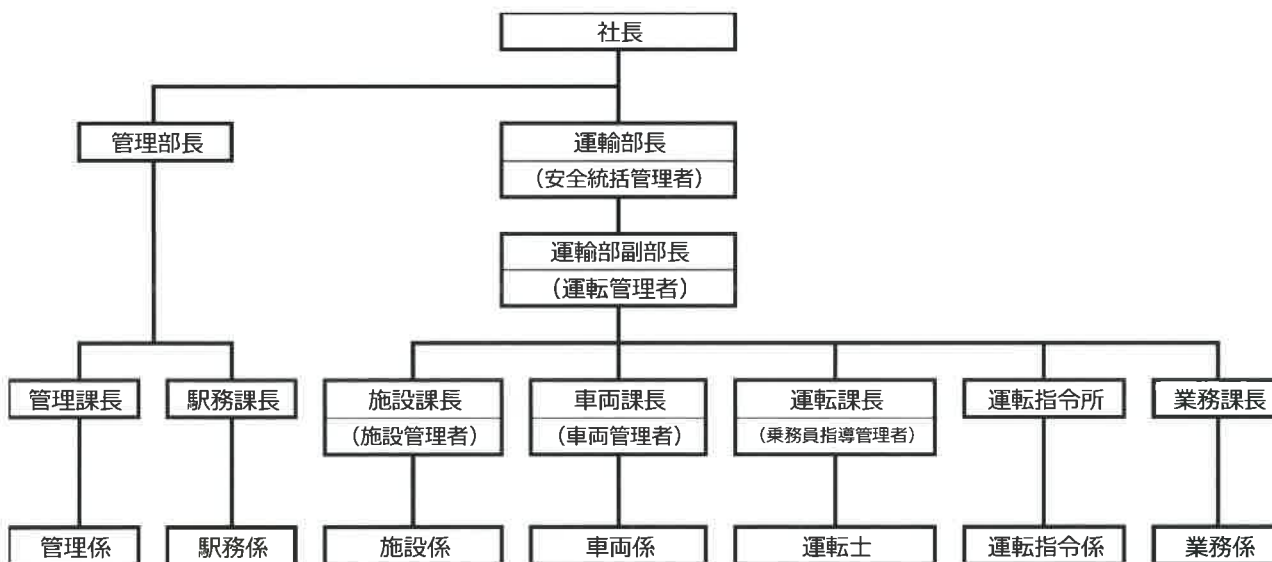
- ・運転事故等 誤扱いによる事故ゼロ
- ・インシデント（事故の兆候） 発生ゼロ

## 4. 安全管理体制

社長をトップとする以下の体制により安全管理に取り組んでまいりました。

社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	安全統括管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の指揮の下、整備・維持管理計画、その他必要な計画の検討にあたり、総合的に安全性及び実施の可能性について検証を行う。
管 理 部 長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画の検討にあたり、社員、設備の状況、その他の事項を勘案し、安全性及びその実現性の検証を行う。

平成29年度安全管理体制



## 5. 事故等の発生状況

---

### (1) 鉄道運転事故

事故の発生はありませんでした。

### (2) 輸送障害（30分以上の遅延または運休）

3件の輸送障害が発生しました。

日付	内容	影響
平成29年7月5日	JRによる抑止要請	上下計3本運休、最大53分遅延
平成29年7月16日	車両故障	上下計3本運休
平成29年10月16日	車両故障	上下計2本運休

### (3) インシデント（事故の兆候）

インシデントの発生はありませんでした。



## 6. 輸送の安全を確保するための取り組み

「春の全国交通安全運動」「夏季輸送の安全総点検」「秋の全国交通安全運動」「年末年始の輸送等に関する安全総点検」等の機会ごとに、事故防止と安全確保のための啓発活動を実施いたしました。交通安全運動においては、行政との連携による交通安全の呼びかけを行い、社会科見学やイベント等で訪れる児童・園児へ啓発グッズを配布いたしました。

また施設・設備については、計画的に更新や検査、修繕、改良を実施してまいりました。

安全体制の整備については、各種規程類の整備を行うとともに、社員に対する教育訓練を実施いたしました。

### (1) 平成29年度に実施した工事・検査等

#### ① ホーム改修

那珂湊駅において、ホームの改修工事を実施いたしました。これにより、ホームがかさ上げされ、列車乗降時の安全性が向上しました。また、移動等円滑化整備ガイドラインに基づき、構内通路の階段とスロープが整備され、構内移動時の安全性と利便性が向上しました。



かさ上げされた上りホームと整備された構内通路（左：工事前 右：工事後）



新たに設置された車椅子対応スロープ（左：工事前 右：工事後）



完成後の全景

## ② 踏切設備の改良

平井踏切と相金踏切において、踏切設備の改良工事を実施いたしました。遮断機をウイトレス式と呼ばれるタイプのものに交換し、保安度の向上を図りました。また、平井踏切では、警報灯を全方位式に更新し、視認性の向上を図りました。



平井踏切（左：工事前 右：工事後）





相金踏切（左：工事前 右：工事後）

### ③ PC 枕木化

磯崎駅付近の軌道の枕木を PC 枕木へと交換しました。PCとは「プレストレスト・コンクリート」の略で、耐久性が高く耐用年数も長いので、軌道安定性を向上させると同時に、メンテナンス負担の軽減になります。

今回の交換工事をもって、急曲線区間は全て PC 枕木化が完了いたしました。



PC 枕木化（左：交換前 右：交換後）

#### ④ 自動列車停止装置（ATS）の更新・新設

終端駅である勝田駅の構内に、終端防護用の ATS 地上子を新設いたしました。また、日工前駅付近に設置されている冒進防止用 ATS 地上子を、従来の S 形から即時停止機能のある Sn 形へ更新いたしました。これにより、さらなる保安度の向上を図りました。



終端防護用 ATS 地上子の新設（左：工事前 右：工事後）



冒進防止用 ATS 地上子の新設（左：工事前 右：工事後）

#### ⑤ 車両の全般検査の実施

全般検査とは、自動車の車検に相当するものです。本年度は、6年の検査周期を迎えた1両について全般検査を実施いたしました。



## (2) 各種教育訓練の実施

- ・ 専門家を招いて、社員に対する安全講習を行いました。
- ・ 警察や消防との合同により、踏切事故対策訓練を行いました（10月24日実施）。
- ・ 関東鉄道株式会社主催の災害等緊急時対応の講習に参加いたしました（12月15日開催）。



警察・消防との合同による踏切事故対策訓練の様子

本報告書のご意見、ご感想をお待ちしております。

○連絡先

ひたちなか海浜鉄道株式会社

〒311-1225 茨城県ひたちなか市釈迦町2番2号

TEL : 029-262-2361

E-mail : [info@hitachinaka-rail.co.jp](mailto:info@hitachinaka-rail.co.jp)



日、出づる道。

ひたちなか海浜鉄道株式会社